



↑ Tree of Hope 茂る ↓ 学院高校生徒のクリスマスカード ↑ クリスマスフェスタ ↓ 市民クリスマス in 千葉



千葉 YMCA ニュースボード
2011年12月15日 第159号
www.ymcajapan.org/chiba/

被災の年のクリスマス

日本の YMCA はボランティアのノウハウをもつ民間団体として、大震災の直後から、仙台・盛岡両 YMCA を中心に被災地支援の活動を始めました。全国の YMCA が連絡し合い、救援物資と働き手を送り、また被災地からの子供たちをキャンプに招くなどの支援を続けています。今後はさらに、仮設住宅を訪問して人々の心のケアを手伝うなど長期の働きが求められます。

千葉 YMCA も千葉・柏の駅前で救援の街頭募金を行い、職員を被災地に派遣、また学生たちもボランティアで奉仕に参りました。これからも可能な形で支援を実施します。

この年のクリスマスが、人々の絆を回復し、思いを寄せ合う機会となりますように祈りましょう。

◆冬キャンプの準備進む

11月16日キャンプリーダーのトレーニングが始まり、年末から来年にかけてのキャンプの準備が着々と重ねられています。スキーを主とするもの以外に、この季節ならではの要素を盛り込んだ楽しいキャンプ、日帰りプログラムもあり、好評受け付け中です。

◆国際協力募金 for 世界の「隣人」

世界各地で、紛争や災害に苦しむ人々、特に子供たちのために YMCA が尽力していることを覚えて、千葉 YMCA 国際協力募金にご参加ください。目標15万円、1月末まで。(千葉センターに掲示の「Tree of Hope」には、募金に応じた方のメッセージが次々と貼付されています。)

◆チャリティーランの益金を寄付へ

10月の千葉 YMCA チャリティーラン(船橋市運動公園で開催)の純益から、地元船橋市内と震災被災地旭市の計6か所の福祉施設に寄付金をお届けしました。益金はYの障がい児支援活動にも活用されます。

◆千葉センタークリスマスフェスタ

千葉センターでは12月4日午後、プログラム参加会員、学院高校生徒、保護者の皆さんも加わって楽しいクリスマスの集いを共にしました。バザー、ゲーム、作品展示、ミニコンサート、そして岸牧師(千葉 YMCA 常議員会議長)のクリスマスメッセージがありました。バザーでは被災地直送の品を販売、売り上げを復興支援献金に加えました。

◆市民クリスマス in 千葉で心一つに

千葉市内外の教会が協働して、一般公開の「市民クリスマス in 千葉」を開催しました(12月10日午後京葉銀行文化プラザで)。山中牧師のメッセージ、紫園香(フルート)と佐々木冬彦(ハープ)の演奏と合同聖歌隊の歌声が会場に響きました。席上献金の一部を被災地支援活動に送りました。

☆この1年の皆様のご協力に感謝し、新年のご多幸を祈念します。

- 千葉センター 043-222-3811
- 柏センター 04-7162-3711
- 船橋地域デポ 047-425-6366